

# 第8回 NPO交流一杯の会

～手稲みらいづくり学校の取り組み～

日時: <b>6月22日(木)</b> 18:00～20:00	参加費: <b>500円</b> (ワンドリンク・おつまみ付)
会場: <b>市民活動プラザ星園</b> (札幌市中央区南8条西2丁目5-74)	定員: <b>20名</b>

～NPO関係者、NPOに興味のある方の交流会です～

第8回「一杯の会」は、医療法人稲生会の伊西夏恵さん(作業療法士)をゲストスピーカーにお迎えします。「手稲みらいづくり学校」のお話を聞きながら、飲み物を片手に交流を深めませんか？

## 《ゲスト 伊西 夏恵さん》

医療法人稲生会 生涯医療クリニックさっぽろ / 訪問看護ステーションくまさんの手

### 【手稲みらいづくり学校とは】

2013年11月に開設した医療法人稲生会は、訪問診療を中心とした医療の提供と合わせ、訪問看護・居宅介護・短期入所の四つの事業により重い病気や障害を抱える方たちの在宅生活を支援しています。

今回紹介する「手稲みらいづくり学校」は、関わる方からの「学びたい」「教えたい」「参加したい」という要望を受け、地域の方たちと協働しながら多様な活動を創造する生涯学習の場です。ゆえに決まった先生や生徒がいるわけではなく、特別な校舎があるわけでもありません。活動により色々な人に先生や生徒になってもらいながら、場所を変えて活動を行っています。

この「手稲みらいづくり学校」の活動を通して当法人を利用する方同士のつながりを増やすことを始めとし、地域での暮らしを豊かなものにするための社会参加の場の提供、ひいては当法人の理念である「困難を抱える人々とともにより良き社会をつくる」ことを目指し、全職員をあげて日々活動に取り組んでいます。

問合せ／申込先 NPO法人NPO推進北海道会議

住所: 札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園201号

電話: 011-200-0973 FAX: 011-200-0974

Email: info@hnposc.net (電話かMailでお申し込みください)



## 1杯の会過去の記録

第6回報告・・・ゲストスピーカーは、NPO法人さっぽろ自由学校「遊」の事務局長小泉雅弘さんでした。90年から今に至るまでの市民運動を取り巻く環境について議論が交わされ「政治と市民」「政治とNPO」などが話題となりました。「遊」の歩みは、札幌の市民活動、市民運動の変遷を映し出すもののように思われました。

第5回報告・・・「今さら聞けない社会福祉協議会」と題し、社会福祉法人札幌市社会福祉協議会総務部経営財務課経営財務係長高階和行さんをゲストスピーカーにお呼びしました。参加者から「『〇〇という企画』があるといった場合はどこに話を持っていけばいいの?」という具体的な質問があったり、「コミュニティソーシャルワーカー」についての意見が出たり、既存制度では対応できない人にどういう風に対応できるか、社協は何をしてくれるのか、という議論もありました。

第4回報告・・・ゲストスピーカーは、NPO法人コミュニティサポート・オアシスの蒲原史起さん。主に女性限定の健康マージャンサークルの運営・支援を行っています。書店、IT企業、会計事務所、競走馬のファンド会社と様々な仕事をしてきた蒲原さんが、知人である理事長とNPO法人を立ち上げるまでに至った経緯と現在の活動を伺いました。

第3回報告・・・ゲストスピーカーは、ひまわり号を走らせる札幌実行委員会事務局次長の内田慎吾さん。「列車に乗ってみたい」「旅をしたい」という障害者の切実な願いを実現させようと専用列車を走らせるひまわり号の活動の成り立ち、ご自身とひまわり号との出会い、札幌実行委員会でのご活動、現状の課題と将来のひまわり号運動についてお話いただきました。

第2回報告・・・ゲストスピーカーは、一般社団法人北海道ピアサポート協会代表の矢部滋也さんとスタッフの稲垣麻里子さん。立ち上げ時の資金繰り、こころの病気と付き合いながら活動をしていくこと、団体が行う障害福祉サービス利用者の方がスタッフになるということの難しさなどを語り合いました。

第1回報告・・・ゲストスピーカーは、NPO法人ヒーリング北海道の杉崎英利さん。杉崎さんがNPOで起業したきっかけ、やりがい・苦労話、どうやって生活をしているか等色々なお話を伺いました。

各回の詳しい報告は、NPO推進北海道会議HPをご覧ください。

## 会場アクセス

地下鉄南北線「中島公園駅」

地下鉄東豊線「豊水すすきの駅」徒歩5分。

周囲に有料駐車場があります。※できるだけ公共交通機関でご来場ください。

NPO法人NPO推進北海道会議は、事務局長佐藤隆が94年年末に、当時のNPO推進フォーラム(現NPOサポートセンター:日本最初のNPO支援組織)代表山岸秀雄氏から北海道におけるNPO活動の拠点組織設立を促されたことが発端となり、1995年設立。NPOを広めるための広報活動、フォーラムやシンポジウムなどの開催、NPO市民講座の開催、行政との連携、政策提言活動、情報の提供活動を行っています。